

1. 科目名 (単位数)	子どもの健康と安全/こどもの健康と安全 (2 単位)	3. 科目番号	SSOT2414
2. 授業担当教員	佐野葉子		SCOT2414
4. 授業形態	講義、演習、グループワーク、プレゼンテーション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	なし		
7. 講義概要	保育環境を踏まえ、こどもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全の管理の具体的な方法を学ぶ。衛生管理、事故の予防及び安全対策、危機管理、防災への備えについて理解する。こどもが体調不良になった場合の対処方法、救急処置と救急蘇生法などを身に付ける。また保育における保健的対応の基本的考え方や3歳未満児への対応、慢性疾患やアレルギー性疾患など個別的な配慮を必要なこどもへの対応を学ぶ。保護者や地域との連携を図る方法、保育における保健活動の計画と評価についても学ぶ。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの健康管理、健康観察の方法について理解し、実施できるようになる。</li> <li>2. 衛生管理の方法（感染症対策も含む）について理解し、実施できるようになる。</li> <li>3. 子どもに体調不良が発生した場合の対応について理解し、実施できるようになる。</li> <li>4. 救急処置および救急蘇生法について理解し、実施できるようになる。</li> <li>5. 子どもの事故の特徴と事故防止の方法、危機管理について理解し、説明できるようになる。</li> <li>6. 3歳未満児への対応、慢性疾患やアレルギー性疾患など個別な配慮を要する子どもへの対応を理解し、説明できるようになる。</li> <li>7. 保護者や地域との連携方法、保健活動の計画と評価について理解し、説明できるようになる。</li> <li>8. 集団保育における健康管理・健康教育の実際を理解し、説明できるようになる。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	レポート課題:子どもの健康と安全を守るために保育者として重要だと考えることを1600字程度でA4に1枚にまとめてください。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】小林美由紀編著『子どもの健康と安全 演習ノート』改訂第2版 診断と治療社、2021。</p> <p>【参考書】鈴木美枝子編著『保育者のための「子どもの健康と安全」』創成社、2021。 中根淳子・佐藤尚子編著『子どもの保健』ななみ書房、2019。 中根淳子・佐藤尚子編著『子どもの健康と安全』ななみ書房、2019。 東京福祉大学編『レポート・試験はこう書く 保育児童福祉要説』中央法規、2022。</p> <p>【教材】 テーマごとに資料を随時配付する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの保健に関する個別対応について理解し実施できる。</li> <li>2. 集団保育における健康管理・健康教育の実際を理解し説明できる。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>成績評価については、ミニテスト20%、レポート30%、日常の授業態度50%とし総合的に評価を行う。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>「子どもの健康と安全」は、保育中の乳幼児の命と健康を守るための技術を学ぶ重要な科目です。保育者は乳幼児の普段の状態をよく把握し、普段と少しでも異なる症状があった場合にはそれをいち早く察知し、適切に対処しなくてはなりません。また、乳幼児の養護や看護を行う場合には愛情を持って温かく接する事が大切です。一つ一つの実習を誠心誠意、真剣に行ってください。受講生は以下のことを必ず守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業は、常に高い緊張感と集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。</li> <li>2) 理解できないことはそのまましておかないで、積極的に質問すること。</li> <li>3) 欠席・遅刻・早退をしないこと（やむを得ない場合は必ず文書で申し出ること）。</li> <li>4) 授業中の私語、携帯電話の作動は絶対にしないこと。守れない場合は退出してもらいます。</li> <li>5) 実技・演習は、事故のないように気を引き締めて行うこと。</li> <li>6) 実習機材の準備・後片付けを積極的に行うこと。</li> </ol> <p>講師は以下のことを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学生が積極的に授業に参加（発言、発表）できるように双方向対話型の学習環境を作る。</li> <li>2) 明らかに授業態度が悪いと判断された場合は厳格に対処する。（その場合、たとえすべて出席していてもF評価になることもあるので注意すること。）</li> </ol>		
13. オフィスアワー	授業内で周知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	子どもの健康と安全 ガイダンス	事前学習	シラバスを読んでくる。
		事後学習	子どもの健康と安全を学ぶ意義についてまとめる。
第2回	子どもの発育 胎児期の発育	事前学習	胎児の発育について調べ。
		事後学習	胎児の発育の阻害要因についてまとめる。
第3回	子どもの発育と評価 身体測定の演習	事前学習	子どもの身体の発育と評価について調べる。
		事後学習	子どもの身体の発育測定の方法についてまとめる。
第4回	子どもの栄養 母乳、人工乳、離乳食	事前学習	母乳のメリット、デメリットについて調べる。
		事後学習	母乳、人工栄養、離乳食についてまとめる。
第5回	子どもの栄養 調乳の演習	事前学習	調乳器具の消毒、調乳方法について調べる。
		事後学習	調乳器具の消毒方法、調乳方法についてまとめる。

第6回	感染症対策 手洗いの演習	事前学習	手洗い方法について調べる。
		事後学習	手洗い方法についてまとめる。
第7回	感染症対策 嘔吐物の処理の演習	事前学習	嘔吐物の処理方法について調べる。
		事後学習	嘔吐物の処理方法についてまとめる。
第8回	医療的ケア児の保育	事前学習	医療的ケア児とはどのような子どものか調べる。
		事後学習	医療的ケア児のケアの方法についてまとめる。
第9回	子どもと食物アレルギー	事前学習	食物アレルギーのメカニズムについて調べる。
		事後学習	食物アレルギーの予防と対処方法についてまとめる。
第10回	一次救命の実際① AEDの演習	事前学習	一時救命について調べる。
		事後学習	AEDの使用方法についてまとめる。
第11回	一時救命の実際② 窒息時の対応	事前学習	窒息の生理について調べる
		事後学習	窒息時の対応についてまとめる。
第12回	子どもの事故	事前学習	子どもの事故の発生要因について調べる。
		事後学習	子どもの発達段階と事故、事故の予防方法についてまとめる。
第13回	子どもの健康安全教育 教材作成グループワーク	事前学習	子どもの健康安全教育の重要性について調べる。
		事後学習	子どもの安全衛生教育の具体的な方法についてまとめる。
第14回	子どもの健康安全教育 グループワークの発表	事前学習	子どもの健康安全教育の教材について調べる。
		事後学習	子どもの健康安全教育の重要性についてまとめる。
第15回	「子どもの健康と安全」のまとめ 小テスト	事前学習	子どもの健康と安全の授業で学習した内容についてまとめる。
		事後学習	子どもの命を守るために保育者として大切なことをまとめる。